

街角にたたずむ
レトロな塔の正体は？



明治29年に日清戦争の終戦を記念し、献灯と街路照明を兼ねて建てられました。レンガ造りの塔の内部は空洞になっており、当時は鎖でランプを吊り上げ、毎夜点灯していました。

3 西蓮寺の常夜灯

洪水から町を
救った六地藏



寺の入り口に並ぶ六地藏は、江戸時代、キリシタンの殉教者の供養のため、村人が芳泉町の松川べりにこっそり安置したものと言われます。あるとき、豪雨で川縁がえぐられ、六地藏も流されてしまいます。しかし、六地藏は決壊を危ぶまれていたところに流れ着き、町を救ったと言います。町の人々は六地藏を引き上げ、栄松寺裏の河原に建立。明治に現在の場所に移されました。現在は子どもの夜泣きに霊験があると、多くの人が地藏の口元にあんこを塗ってお参りをしています。

1 栄松寺の六地藏

謙信も信仰
したと言われる
毘沙門天



米沢藩の重臣・千坂家の菩提寺で、上杉家と共に越後から米沢に移ってきた日蓮宗の寺院です。日蓮と縁の深い泥足毘沙門が祀られ、上杉謙信も篤く信仰したと言われています。泥足の由来は？お寺でお聞きしてみたいかがでしょうか。

2 日朝寺

※泥足毘沙門尊天のご開帳は毎月18日です



米沢に眠る 隠れ歴史ストーリーを探せ！

米沢は歴史の宝庫

「米沢は上杉の城下町」。そんなキャッチフレーズで本市は全国に知られ、毎年たくさんの観光客に訪れていただいています。しかし、この米沢、観光客だけでなく、地元に住む私たちも街歩きを十分楽しめるのです。直江兼続が築いた城下町の面影、神社やお寺に残る逸話など、まちにはたくさんの「物語」があふれています。

今回は米沢に隠れている歴史ストーリーをご紹介します。地図を片手にぜひまちを歩いてみてはいかがでしょうか。ゆっくりと歩けば、いつもの道にも意外な発見があるかもしれません。

東寺町通り周辺



直江兼続が米沢城下を整備した際、城下外縁に寺をまとめて配置し寺町を整備しました。今の東寺町、北寺町、七軒町(南寺町)です。寺や墓地(墓)が防衛ラインとなりました。

東寺町通りでは、板塀の続く城下町らしい景観にしようと板塀整備の取組が進んでいます。

過去の「ふらり」を 読んでみよう！

地図中の「**続ふらり**」については市ホームページ「広報よねざわ」のページに、「**旧ふらり**」については <http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1113.htm> に詳しい説明を掲載しています。

まちなかに残る
土塁跡



米沢城三の丸土塁が残る公園で、塁上には五穀稲荷大明神のお堂が建っています。また、土塁には弓矢の矢柄（軸部）となる矢竹が植えられています。

4 桐町公園

あらまち

桐町通り周辺

伊達時代までは白子明神（白子神社）の門前町で、直江兼統の町づくりで現在の場所に作り直されたまち。上杉時代は米座（米の売買を独占する機能）や宿場町役割を持ちました。



どうしてここに
神社が!?



米沢藩の上級家臣である西條家の屋敷跡。直江兼統の指揮で築かれた旧米沢城三の丸土塁や元西條天満神社の旧社殿が残されています。

5 西條天満公園

西條天満公園に残る逸話

元弘2年(1332)、後醍醐天皇は鎌倉幕府打倒に失敗して隠岐島(島根県)に流されました。翌年、天皇は島から脱出を試みますが、その際、船頭を務めたのが西條家。その手柄によって天皇から賜った菅原道真画像をご神体とし、天満宮を建立しました。現在、西條天満神社は皇太神社境内に移されています。

門東町通り・大町通り周辺

門東町は米沢城の東に位置する武士町で、上級家臣の屋敷が並びました。大町は城下第一の町人で大店が並びました。門東町と大町の間には三の丸堀と土塁があり、武者道が通っています。



あわびが
祀られた大明神!?



大化3年(647)に朝鮮半島の国・新羅が攻めてきた折、表米宿禰命(ひょうまいすくねのみこと)という皇族がこれを撃退。沈没しそうになった命の船を無数のあわびが持ち上げて救ったといわれ、このあわびを祀るのが赤淵大明神です。この場所は江戸時代の薬種商・九里家跡で、命の子孫である同家の氏神が残っていたことからこの地で祀られています。

6 赤淵大明神

武士の気持ちで
こっそり歩いてみよう!



7 武者道

幅9尺(約2.7m)の細道で、武士だけが通れたことに由来します。三の丸堀に接し、当初は管理用に設けられた細道でしたが、後に武士が買い物などに利用しました。武士たちは、刀を差さず、笠で顔を隠し、頬かむりして、こっそりこの細道を出入りしたと言われています。武者道は市内にも何か所か残っていますが、ここは平成25年に整備され、実際に歩くことができます。

南奥羽 城下町サミット 開催!

本市は上杉の城下町を基盤としたまちであり、伊達政宗が誕生したまちです。そしてまた、この南東北にも数々の特徴ある城下町があります。

「南奥羽城下町サミット」では、第一部に安部米沢市長の基調講演、第二部では「城下町の景観・史跡とまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。今回は上杉家・伊達家にゆかりのある城下町と第二部の概要をご紹介します。



伊達市

伊達家が 最初に築いた館

伊達市は米沢市と同様、伊達氏と上杉氏に縁が深く、歴史を生かした観光を考えています。その一つが「梁川八幡宮」。伊達政宗が初陣の時に参拝した社で、愛姫を出迎えた場所でもあると伝えられています。今年4月には、近くに「政宗にぎわい広場」を整備しました。

また、梁川城や西根堰など上杉氏と関係の深い史跡も多く残っています。こうした歴史遺産を掘り起し、来訪者が歩いて歴史にふれるまちを整備したいと考えています。また、歴史を通して市民が誇りを持ち、来訪者と共に散策する「健幸都市」を目指しています。



▲梁川城跡
梁川八幡宮▶



(仁志田昇司市長)

仙台市

伊達政宗が 築いた城下町

伊達政宗が築いた町割りは今も変わりがなく、それだけ構想がしっかりしていたと言えます。仙台は江戸時代から緑が多い城下で、空襲で城下町らしい建物は失われてしまいましたが、「仙台らしさ」とはこの「杜の都」であると考えています。

「緑と近代的都市」を大きな目標とし、今年12月に開業する地下鉄東西線国際センター駅からの景観がこれからの仙台の象徴になると思います。また、光のページェント、定禅寺ストリートジャズフェスティバルなど、市民手作りのイベントも開催されています。様々な工夫を凝らしながら、たくさんの方に楽しんでいただき、史跡、まちなかの賑わいを大事にしていきたいです。



▲国際センター駅から望む市街地
仙台城跡▶



(奥山恵美子市長)

ご家族の介護でお困りではありませんか?

- ・最近、トイレに一人で行けなくなったようだ。
- ・介護保険について知りたい・・・等。

ご相談無料です。
お気軽にお電話下さい。

株式会社 ニュー東北
ケアプランセンター杏子(あんず)
米沢市中央6丁目1-219 (三友堂病院 西隣り)
電話 24-2737

なごみCafe

介護で困っているご家族、認知症の方とご家族、地域住民の方々など誰でも参加でき、集う場です。参加者の皆さんで温かいコーヒーなどを飲みながら、団らんや情報交換、レクリエーションなどをしながら、楽しい時間を一緒に過ごしませんか。

11月10日(火) 南部コミュニティセンター 時間 9:30-11:30
参加費 500円
11月24日(木) 東部コミュニティセンター 対象者 どなたでも

お問い合わせ (有)なごみの部屋
〒992-0039 米沢市門東町2-8-38 ☎22-7557 担当:三浦・矢木

広告

福島市

江戸初期、上杉が
66年間治めた福島城



▲旧米沢藩の米蔵

板倉家藩主 300 年記念事業
での大名行列の様子▶



福島市は米沢市と隣接しており、昔から米沢街道・万世大路・山形新幹線、更に東北中央自動車道で結ばれ、交通面で深くつながっています。江戸初期には上杉氏の領地で、福島城には重臣の本庄氏が在城。その後板倉氏が在城し、県庁敷地内には板倉氏を祀る神社が残っています。

板倉家藩主300年記念事業を契機に、福島城下まちづくり協議会が結成され、観光まち歩きや食のイベントが開催されました。また、街なか観光の拠点として「旧米沢藩米蔵」を復元し、昔ながらの面影を残す散策ルートを整備しています。福島城下をモチーフとし、市民協働で中心市街地の活性化を図っています。

(安齋睦男副市長)



▲パネルディスカッションの様子

第2部パネルディスカッション コーディネーターから

文化課 主幹 青木 昭博



4市はいずれも米沢市と同様、伊達氏や上杉氏と縁の深い城下町です。伊達市長からは、「梁川城や西根堰など上杉縁の史跡も多いんです」との話があり、福島市では「旧米沢藩米蔵」を復元した事例を紹介、伊達信夫地方が江戸初期の66年間は上杉氏が治めていた地域であることを再認識しました。

また、仙台市は「杜の都」をアイデンティティーに、緑を生かしたイベントの開催、会津若松市では景観を「まもる・つくる・そだてる」観点から、「美しい会津若松景観賞」を実施している例など、それぞれの市の持つ特色を生かした街づくりをお聞きしました。

町なか散策や市民協働のイベント開催が、今後の街づくりのキーワードになるのではと感じました。

今回は城下町の景観や街づくり事業などの画像を準備していただき、具体的なお話ができより理解できたかと思っています。ありがとうございました。



▲歴史的景観豊かな七日町通りのまちなみ

会津若松のシンボル・鶴ヶ城▶



会津若松市

景勝・兼続が築いた
巨城・神指城跡

会津若松城の西方に、上杉景勝と直江兼続が築いた神指城跡があります。残念ながら土塁の一部が残るだけですが、会津120万石の居城として築いた城の規模の大きさが窺えます。

史跡・景観をどう残してゆくか、継承するか、観光に生かすかを考えています。平成4年に会津若松市景観条例が制定され、景観を「まもる・つくる・そだてる」という観点から、「美しい会津若松景観賞」の表彰を行っています。景観に対する意識を持てば、時間をかけて残すことや新しい建物を景観にふさわしいものにもできます。歴史のある町は景観を大事にしなければならぬと考えています。

(室井照平市長)



広告

★★まいづる幼稚園★★ ☆入園願書☆受付中☆

お子様の幼稚園をお探しの方…百問は一見にしがず!
まいづる幼稚園ってどんなところ?
まいづる子ども達の様子をお気軽に見に来て下さい!!

対象は…2年保育希望(平成23年度生まれ)
3年保育希望(平成24年度生まれ)
4年保育希望(平成25年度生まれ)

見学希望の際は事前にお電話下さい!

まいづる幼稚園 米沢市丸の内1-1-47 TEL23-1489



有償ボランティア活動員募集!!

当事業所利用者の方を病院や施設等へ送迎して頂きます。
(自己車両を使用して頂きます)
※お車代として謝礼をお支払いします。

対象者

- ①米沢にお住まいの方
- ②車を持っている方(貨物車以外)
- ③時間に余裕のある方
- ④ボランティアに関心のある方

まずはお気軽にお電話下さい。詳細は面談にてご説明致します。

NPO法人 ひまわりサービス

米沢市成島町1-7-59(担当/堀内・伊東)

☎0238-37-1550

